

気象研究コンソーシアムデータ（高分解能雲情報）の内容（令和元年 12 月 11 日 06:30UTC～）

1. 提供データの内容

ひまわり 8 号によるフルディスク観測データや数値予報データから得られた雲に関するプロダクト。

2. データフォーマット

フラットバイナリ形式（ビッグエンディアン）

3. 算出領域

北緯 60 度～南緯 60 度（0.04 度間隔 3001 格子点）

東経 80 度～西経 160 度（0.04 度間隔 3001 格子点）

4. 算出頻度

~~1時間~~10分ごと

5. 要素一覧（1 バイト整数）

（1）雲の有無（ダストの有無を含む）

	データなし	雲なし	雲混じり	雲あり
ダストなし	-1	0	1	2
ダストあり		3	4	5

（2）雪氷の有無

データなし	雪氷域なし	雪氷域あり
-1	0	11

（3）雲相及び厚さ

データなし	雲なし	水雲	過冷却 水雲	水雲と氷雲 の混合	光学的に 厚い氷雲	光学的に 薄い氷雲	多層の氷雲
-128	0	2	3	4	5	6	7

（4）雲型

データ なし	雲なし	積乱雲	半透明 上層雲	中層雲	積雲	層積雲	層雲／霧	不透明 上層雲
-1	0	1	2	3	4	5	6	7

（5）雲頂高度（100m 単位）

データ なし	雲頂高度			
	0 m	100 m	…	25,400 m
-128	-127	-126	…	127

（6）品質情報

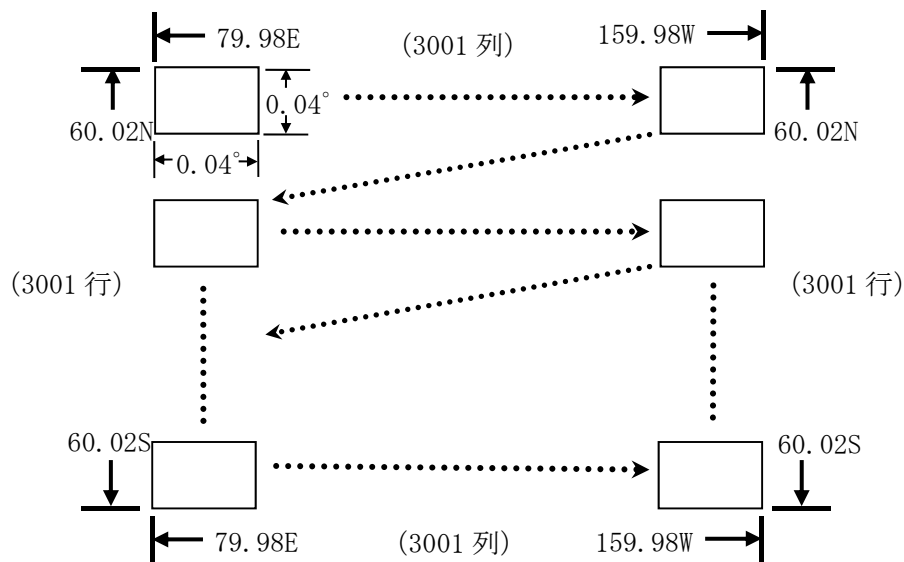
①品質フラグの有効性	有効	0	無効	1
②太陽の影響による品質低下	可能性なし	0	可能性あり	1
③月の影響による品質低下	可能性なし	0	可能性あり	1
④太陽校正運用	実施なし	0	実施中	1
⑤食運用	実施なし	0	実施中	1
⑥雲の有無の品質	高品質	0	低品質	1

⑦雲型の品質	高品質	0	低品質	1
⑧雲頂高度の品質	高品質	0	低品質	1

①から順に、ビット並びの右から1ビットごとに0または1で表現します。

6. 格子系の定義

高分解能雲情報は等緯度経度間隔の格子資料です。北西端の格子資料を先頭に東端まで格納され、更に順次1格子南側の西端から東端まで連続して格納され、最後に南東端の格子資料が格納されています。詳細は以下の通りです。



7. ファイル名及びデータ量

一観測（~~1時間~~10分）あたり 10.5MB 程度（gzip 圧縮後）

（1 ファイルあたり）

- (1) 雲の有無 : yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_cmsk.dat.gz, 約 1.0 MB
- (2) 雪氷の有無 : yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_snow.dat.gz, 約 0.1 MB
- (3) 雲相及び厚さ : yyyyMMddhhmmss_fund_cons_ctph.dat.gz, 約 1.5MB
- (4) 雲型 : yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_ctyp.dat.gz, 約 1.5 MB
- (5) 雲頂高度 : yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_ctth.dat.gz, 約 5.0MB
- (6) 品質情報 : yyyyMMddhhmmss_hcai_cons_qflg.dat.gz, 約 1.5 MB

（注）yyyyMMddhhmmss は、情報の年月日時分秒を UTC（協定世界時）で表しています。